

## おいしい 自然園

菊川の石はどこから  
きたのか？



2018年12月号のこのコーナーで、菊川の支流には大きな石がたくさんあり、それが箱根火山由来であると紹介されました。今回はこの石に注目します。

石を調べるには、岩石薄片はくへんを作ることから始めます。岩石薄片とは、岩石を消しゴム程度の大きさに切断し、それをガラス板に貼りつけて0.03ミリメートルまで薄く磨いたものです。これを偏光顕微鏡へんこうけんびきょうという特殊な顕微鏡で観察すると、石のつくりや中に含まれている鉱物の種類などを観察することができます。

箱根火山の溶岩は、ほとんどが斜長石と輝石を含んでおり、まれにかんらん石を含むという特徴があります。そこで菊川の支流から石をとってきて岩石薄片をつくって観察すると、箱根火山ではまれなはずのかんらん石がたくさん含まれていました。含まれる鉱物と石の組織から、玄武岩という種類の溶岩に区分されます。今回はこの石を化学分析して、どこから流れてきたのかをピンポイントで推測します。



菊川の石の岩石薄片写真（正交偏光）。  
横は約3mm、ol:かんらん石 pl:斜長石